

登場人物

名村開人 (32) 売れない画家

深山走 (27) 売れっ子漫画家

丸川彩音 (33) 評論家・画廊オーナー

開人が借りているアトリエ。ほぼ荷物は片付けられて、閑散としている。開人の師で、走の父で、彩音がマネジメントを担当していた、画家深山庵の一周忌が迫ろうとしている、ある日のこと。

アトリエ。

椅子2〜3脚、空のイーゼル。

開人は空のイーゼルの前に腰掛けている。

走と彩音はそれぞれ別の椅子に背を向けて座っている。

三人は別の方向を見ている。



走が開人のアトリエにやってくる。

走 開人さん。

開人 悪いね、遠いところわざわざ。忙しいのに。

走 いいのいいの。今ちようど暇だから。

開人 売れっ子じゃない。

走 まぐれまぐれ！ 終わったし。

開人 終わった？

走 そう。もう結構前に。今日最終巻出たよ「ビクトリアン」

開人 へえ。お疲れ様でした、先生。

走 まじで疲れた！ 超大変だった！ 漫画ってスゲー疲れんのな。週に一六枚も絵描かなきゃいかんとか、マジで死ぬかと思った

開人 悪いね、手伝えなくて。

走 いいって。どうせ来てもらっても、適当な線引けないだろ？ もうなんつか、思想が違うから。絵画と漫画は。

開人 そうね、俺、週に一六枚とか描けないわ。

走 しかし、あれだね。

開人 なに。

走 なんもねーな！ アトリエでしょ？

開人 ああ、うん、今ちよっとアイドルリング中っていうか。心機一転っていうか。わかるでしょ。

走 なになに、行き詰まってんの？

開人 そういうわけじゃないけど。描いてるけど。

走 えー、観たい。

開人 うん、だから、心機一転模様替え中だから、ないよ。

彩音が嵐のようにやってくる。

彩音 入るわよ。座らせて。お茶ちょうだい。あー疲れた。ここ駅から遠い！ なんなの。一三センチ

ールなめんじやない。あつついし。日焼けしたらどうすんの。

走 あーちゃん。

彩音 走ちゃん。おひさ。

走 香りたってんな。バブルが。

彩音 文句ある？

走 ない。かわいい。

彩音 開人。お茶って言ったの聞こえなかった？

開人 俺お手伝いさんじゃないんだけど。

彩音 喉からっからから。殺す気？

開人 水しかないぞ（水をくみに行く）

彩音 水道水やめてよ

開人 贅沢言うな（去る）

彩音 ちよつとあいつマジビンボーなんですけど。

走 羽振り良さそうだね、あーちゃんは

彩音 ちよつと、ちよつとちよつと。あんたに言われたくない。一番稼いでるんじゃないの？ 大先生じゃ
ん。

走 照れる！

彩音 なにやらせても上手いもんね、走ちゃん。復帰しないの？

走 ななに

彩音 油絵。復帰待ってるんですけど。待ち焦がれてるんですけど。

走 あーちゃんが面倒見てくれるの？

彩音 そりは絵を見てみないとわかんない

走 なんだよ

彩音 妥協するわけないでしょ。仕事だもん

走 あーちゃんの批評コエーんだよ。ばっさり行くじゃん。

彩音 辛口なのが受けてんの

開人 (戻ってきて、彩音に) ほれ

彩音 どーも(水を一気飲みする)ぬるっ

開人 水道水だからな

彩音 ぬるい水飲んでるからぬるい絵しか描けなくなんてでしょ。せめて氷水ちょうだい

開人 氷なんて贅沢品うちにはありません。

彩音 出たクソ貧乏ストイック画家気取り。描く絵はたいしたことない

開人 お前の好みじゃないだけでしょ

彩音 あたしの目なめんじゃない。どうなの？ うまくやってんの

開人 どうにか副業しないでやれてるよ

彩音 (舌打ち)

走 仲いいね

開人 どこが

走 あーちゃんとそういう喧嘩できるの、開人さんだけじゃん

彩音 わたしは正直に接しているだけですけれど

開人 痛み入ります。何しに来たんだお前は

彩音 あー、そろそろ、先生の一周忌でしょ

走 んん？

開人 うん

彩音 回顧展したくて

開人 回顧展

走 んん？

彩音 一応ほら一番弟子（開人）と、息子（走）には話し通しておかないとね、と思って。いつそ一周忌法要もギャラリーでやろう、的な。

走 あーちゃんあーちゃん

彩音 なになにに走ちゃん

走 俺、息子

彩音 わかってるよ？

走 俺、喪主、やった。

彩音 知ってる知ってる。

走 一周忌の法要的なものは、俺から言うことじゃないか？

開人 確かに。

彩音 わかる。わかるよ走ちゃん。でもね、先生の絵の管理は誰がしてる？ わたしだ。お葬式の取り仕

切りは結局誰がやった？ わたしだ。

開人 俺もだろ

彩音 薄ぼんやりしてたただけだろうが。黙っつけ。

開人 あの葬式だって、お前「明るく送り出しましょう！」みたいな「アート葬」みたいなシヤラクさい

ことやってさ、走君は傷ついてたと思うけど

彩音 先生はそういう人だったでしょ！

開人 お前に先生のなにがわかんだよ

彩音 あんたよりはわかってます。ねえ走ちゃん

走 俺え？

彩音 やだった？ あの葬儀

走 嫌って言うか……俺はもう、訳わかんないところだったから。ちょうど連載も盛り上がってて、クソみ

たいに忙しくてさ「帰ってペン入れの続きしなきゃ」とか「アシスタントにちゃんと指示出せてたかな」

とかそんなことばかり考えてて、全然、親父を悼んでやれなかった……（涙ぐむ）

開人 (走を気遣いながら) ほらな

彩音 なにが

開人 やだったんだよ

彩音 それどころじゃなかったただけでしょ? ヤダとは言ってない

開人 折れないなお前は

彩音 あんたには死んでも折られない。

開人 対抗意識だけでそういうこと言うのやめろよ。あと死ぬとか言うな。

彩音 (走に) ごめん

走 ダイジョブダイジョブ。ごめんね。はー泣いちゃった。

彩音 走ちゃん、回顧展、やってもいい?

走 いいんじゃない?

彩音 ありがとう

開人 その話しにきたの?

彩音 そうだけど

開人 俺いる?

走 いるよ。一番弟子じゃん。

開人 いや弟子は弟子だけど、俺何の権限もないし、なにもできないけど？

彩音 そう思うでしょ？

開人 お前の性格上、俺を絡ませるとかありえないしな

彩音 よくわかってらっしゃる。いや、それでね、あんたに下げたくもない頭を下げるのには訳があって
さ

開人 やだ

彩音 まだ何も言ってないじゃん

開人 嫌な予感しかしない

彩音 先生がさ、最後に描いてた絵、あるじゃん。

開人 またそれか。

彩音 諦めきれない。遺作があるの。先生の。

走 あーちゃん、あの書き置きはホントかどうかもわかんないし、最後の方の親父ってもう人が変わって
たじゃん。

彩音 それでも描いた。先生は髪の毛一本まで画家なんだから

開人 大体な、先生が書き上げてたら一番に俺に見せるはずなんだよ。今までずっとそうだったろ

走 俺じゃなくてね

開人 ……弟子と息子は違うんだよ

彩音 あたしマネージメントしてたんですけど

開人 弟子とマネージャーも違う

彩音 あんたなんでも褒めるもんね。「いいですね」「色使いがいいですね」「タッチがいいですね」。
いいとこ探し。偽善者。八方美人。弟子って言うより精神安定剤。

開人 お前、俺にお願いがあるんじゃないの？

彩音 これからそれを話すんでしょうが。

開人 聞く気失せるわ

走 その最後の絵がどうしたの

彩音 その最後の絵を、メインにしたいの。回顧展の。

開人 なんで、それを俺に聞くわけ

彩音 先生の最後看取ったのあんたじゃん？

走 俺じゃなくてね

彩音 走ちゃんちよつと黙ってて。知ってるとしたらあんただと思うんだけど。

開人 ……知らないよ

彩音 どこに隠した！

開人 知らないって言ってるだろ

彩音 あんた嘘付くときめっちゃ唇舐めるよねえ。

開人 はあ？

彩音 さっきからベロベロベロベロ。元カノ誤魔化せると思ったら大間違いなんだよ！

開人 何十年前の話をしてるんだよ！

彩音の携帯電話が鳴る。

彩音は携帯の表示を確認すると、舌打ち。

彩音 (リモコンをかざすように) 一時停止してて。

彩音は出て行く。

開人 なんなんだ！

走 開人さんとあーちゃんてより戻した？

開人 戻すわけないでしょ

走 ふーん。

走 ありがとな。

開人 なに

走 絵のこと、黙っててくれて

開人 別に走君のためじゃないし

走 ……

彩音は電話している

彩音 だから返しますって言ってるでしょ？ 耳付いてんの？ ああゴメンナサイゴメンナサイ。すいま

せん。口が悪いキャラで生きてきたんで、急には止まれないって言うか。なんでもないです。……今探
してますよ。絶対持ってます。有ります！ ……カンで動くわけじゃないでしょう。見つければ、もうそれ
はちゃんとお返しできますよ。深山庵の幻の新作ですから。だから、他の作品に絶対手つけないでくだ
さいよ！ 今日中には目処つけますから！ はい！ はい！ さよなら！（切る）

開人 嬉しかったんだ。

走 なにが

開人 先生の気持ちが。

走 ああ、うん。

開人 あの絵が手許にあることが。

走 うん

開人 俺、あの絵、大好きなんだよ

走 開人さん、あのさ……

彩音が戻ってくる

彩音 (リモコンを操作するように) ピッ。吐け。

開人 彩音。

彩音 呼び捨てすんな。吐け。

走 あーちゃん、一回落ち着こう。

彩音 なに？ 敵に回んの？

走 敵って。俺はいつでもあーちゃんの味方でしょうが。

彩音 嘘だね。あたしは一回裏切られてるもん

走 いつだよ

彩音 走ちゃんが絵をやめたとき

走 ……なにそれ

彩音 なんで描かないの？

走 漫画描いてますけど

彩音 才能無駄にすんじゃない！ このポンコツが代わりにやめれば良かったのに

開人 いい加減にしろよ。

走 あーちゃんに何がわかんだよ！

走 俺だってやめたくなかったけど！ 言われたの。親父に。やめろって。俺才能ないの。太鼓判押され

たの。親父に。深山庵に。

彩音 え？

開人 走君、才能有るよ

走 八方美人は黙ってるよ

開人 あ？

走 開人さんなんてなんでも「最高」って言うじゃん。素人の絵と俺の絵、同じテンションで褒める奴に何も言われたくない。

彩音 走ちゃん

走は立ち上がって去ろうとする

彩音 どこ行くの

走 トイレ！

去ろうとして

走 どこだよ！

開人 (指さす)

走はけたたましくトイレへ

開人 知ってた？

彩音 いや。あんたは

開人 いや

彩音 なんで。走ちゃん、才能あるのに

開人 怖かったんじゃね？

彩音 なにが

開人 いやだから、走君の才能が

彩音 誰が

開人 先生

彩音 先生が？ そんなわけないじゃん

開人 知ったような顔すんなよ

彩音 先生のこととはあんたよりわかってるつもりだけど

開人 へー。

トイレ。

落ち込んでいる走。

走 なんでも急に大きい声出しちゃったんだろう。みなさんこんにちは。深山走です。漫画家です。ついこの間まで「ビクトリアン」っていう、平凡な高校生が異世界に飛ばされて魔法の力を手に入れて世界を救う漫画を描いてました。ありがたいことに結構売れて。でもこの成功俺全然嬉しくないの。全然。だっ

て俺ホントは全然漫画とか描きたくない！ もう漫画なんて嫌いだ！ 嘘だいすき！ 油絵はもっと好き！ あーちゃんは俺に才能有るって言うてくれるじゃん。開人さんも言うてくれるじゃん。だけど、根本、根っこにいる親父に否定されたらもうダメなわけですよ。むかついてむかついてこのやろーじゃあ漫画描いてやる、こなくそーって描いてたら当たっちゃ俺の不幸。……不幸だよ？ 共感しづらいでしょ？ でも俺、最高に不幸せ！

彩音 絵、どこ

開人 知らない

彩音 嘘

開人 お前は自信満々だな

彩音 悪い？

開人 ないかも知れないだろ

彩音 絶対ある

開人 なんでそんなに確信できるんだよ

走がトイレから戻る

走 ……

開人 走君

彩音 走ちゃん、あのね

走 あーちゃん

彩音 なに？

走 おっぱい触らせて

彩音 は？

走 触るだけだから

彩音 やだやだやだなんで？

走 落ちこんでんだよ！ いいじゃん減るもんじゃなし

彩音 減るわ！ そのご提案だけでちよつと減ったわ。

走 けち。

開人 揉ませてやれば？

彩音 なんでだよ。

彩音 なんで揉むになってんのよ。

走 あーちゃん

彩音 なに

走 親父の絵があるって、なんで知ってるの

彩音 あるの？

走 なんで知ってるの？

彩音 ……聞いたの。

走 誰に

彩音 ヌードモデル。

開人 あ。

彩音 呼んでるよねえ？ バレリーナあがりの、先生のお気に入りだった

走 マキちゃん

彩音 この業界狭いの忘れてんじやないわよ。あの子「開人さんのお、アトリエでえ、見ちゃってえ」って言った

走 貧乳マキちゃん

彩音 復帰するならいくらでも揉ませてやるから黙ってて

走 まじで

試し読みしていただけるのはここまでです。

この続きは商品をご購入の上ご覧下さい。

シットアウト（おためしサンプル）

2014年9月2日 初版発行
2014年9月2日 改訂（ver.2.000）

著 者 米内山陽子 © 2014年

発行者 石村寛之

発行所 有限会社レトロインク

〒181-0001 東京都三鷹市井の頭4-26-7

電話 0422-49-2903
